

柘植地域 まちづくりだより 第258号

令和2年(2020年度)
柘植まち協の事業計画

柘植まち協の事業計画

前号(257号)で速報しましたように今年度の事業計画・予算は書面議決によりすべて可決されました。

今号では、各事業について、委員会、部の順で紹介します。

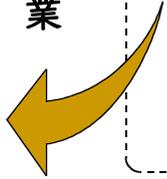
ただし、コロナウイルス感染症対策で中止や延期など予定が変わることもあろうかと思えます。よろしくお願ひします。

詳しい事業内容・予算は、『議案書』をご覧ください。
(真下のQRコード)

また、新しい規約は左記のQRコードでアクセスください。

協議会運営に関わる事業

- ① 情報発信活動
- ② 研修活動
- ③ 事務局運営経費
- ④ その他必要な事業経費



委員会別の事業

(防災委員会)

- 自主防災力向上事業
- ① 防災訓練・防災研修
- ② 防災井戸の検討・充実

(人権啓発推進委員会)

- 人権啓発合同事業
- ① 合同フィールドワーク
- ② 人権啓発映画一斉上映会ほか
- ※伊賀支所人権同和問題地区別懇談会

(柘植地域福祉ネットワーク会議)

「つげふくしネット」の活動

(スポーツ推進委員会)

地域スポーツ活動の推進

- ① 地域スポーツ大会
- ② トレイルランニング大会支援
- ※今年中は中止が決定しました。

(公共交通のあり方検討委員会)

公共交通のあり方検討委員会の活動

原則、7月から活動はスタートします！

分野別の事業

人権・同和分野

- (人権・同和部会活動)
- ・柘植地域及びいがまち人権学習・懇談・交流
- ・柘植住民及び部会員への広報・研修・啓発

健康・福祉分野

- (健康・福祉部会活動)
- ・健康づくり推進
- ・ユニバーサルデザインのまちづくり

生活・環境分野

- (生活・環境部会活動)
- ・家庭系ごみの適正処理に係る啓発
- ・安全安心の公安活動と環境保全
- ・水資源に関する調査研究

教育・文化分野

- (教育・文化部会活動)
- ・各種の講演会
- ・コンサート等の開催
- ・夏休み等こどもの遊び

産業・交流分野

- (産業・交流部会活動)
- ・各種の研修会
- ・有害鳥獣対策
- ・柘植駅・駅周辺の観光面充実

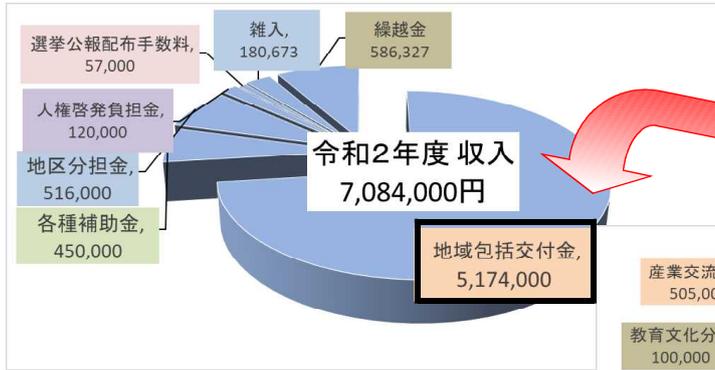
イベントや行事の情報、まち協HPのお知らせをご覧ください。



発行 柘植地域まちづくり協議会事務局
三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地
(柘植地区市民センター内)
〒五二九一四〇二二
電話 四五八八八〇 FAX 四五八八八三

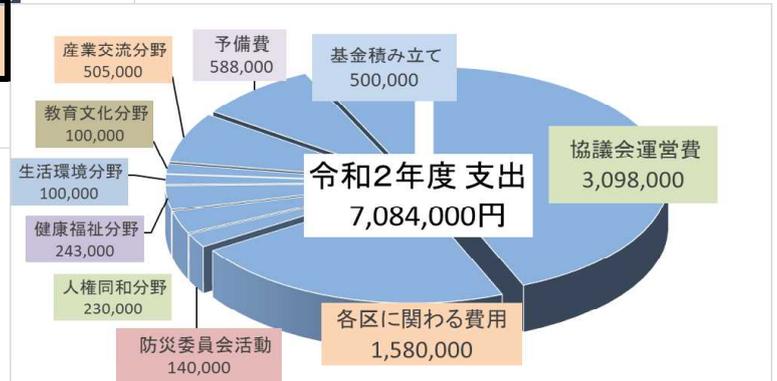
発行日 二〇二〇(令和二)年七月一日(水)

柘植地域俳句コーナー
邂逅の
旧友優し
盆帰省
内田泰成



← 収入の約75%は市からの「地域包括交付金」が占めています。

2018年度比で15%減額となっています。4年後にはさらに減額され、3,874,000円(2018年度比36%減額)となることになっています。



「各区に関わる費用」には、伊賀市との協定による広報配布や各種委員の選出などの費用が含まれています。

「基金積み立て」は、将来の「地域包括交付金」減額を見込んでのものであります。 →



柘植駅・関西線・草津線は、柘植地域の財産、伊賀市全体の財産です

市当局は、この春改定の関西線・草津線等の時刻表(2種)を配付しています。まち協事務局(市民センター)にあります。必要な方はご連絡ください。



甲賀と伊賀はお互いの生活共有地域



わたしたちは生活行動圏を共有しています

三重県伊賀市・滋賀県甲賀市が作成・配布しています。希望される方は、伊賀市HPよりダウンロードしてください。



生活行動圏を共有していることを示す自動車用「圏域証」を市当局

産業交流部会では、「柘植駅・駅周辺の観光面充実事業」として、定期的にボランティアを募集し、駅構内&駅前美化の取り組みを進めています。

なお、まち協事務局でも必要な方にはコピーさせていただきます。

☆☆☆事務局だより☆☆☆
▼『まちづくりだより』やその他のチラシについては、発行回数とページ数を減らすという方向性の下、紙面の内容が広く浅いものとなっています。これをご了承ください。まち協のお知らせは、逐次HPでもチェックしていただけます(1頁参照)。▼次号では、例年実施の「いがまち合同区長集会」の様子をお伝えします。西柘植&壬生野とのおつきあいも減っています。まずは区長同士が知り合うことから。▼近所とのつきあひも少なくなってきた昨今、「新しい生活様式」が国連のSDGsにうたわれている「誰一人取り残さない」につながるようにしたいものです。(西田方針)

今後の感染病対策として、自分たちができる社会貢献として支え合いの気持ちをもっていただきたいものです。



手作りガウンを作って社会貢献
防災委員会
「新型コロナウイルスの医療従事者が使用するメイクガウン・プロシエクト」で学んできた委員会メンバーが呼びかけ、6月13日(土)と20日(土)に集まったメンバーとともに「ポリ袋ガウン」を作成。出来上がった78着をみえ防犯市民会議伊賀ブロックへ届けました。それらは伊賀市内の医療機関等で使用されるそうです。